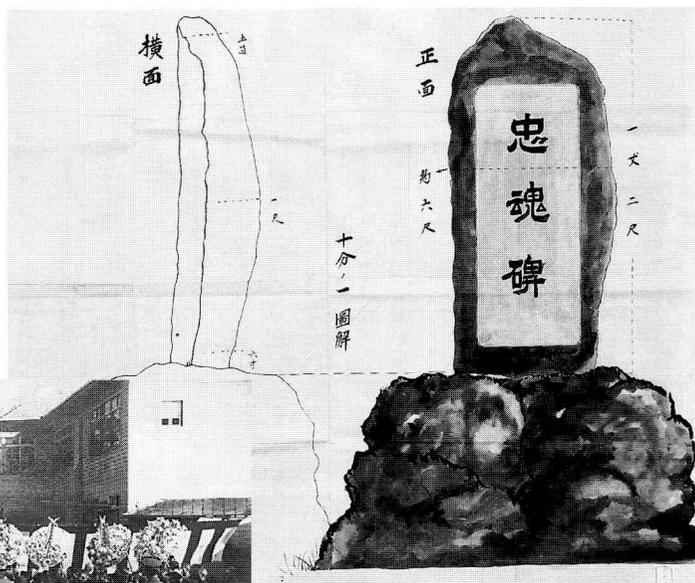


# 明治史料館通信

2004.4.25 (季刊 年4回発行) Vol. 20 No. 1 通巻第77号

西浦村忠魂碑設計図  
(西浦村役場文書)



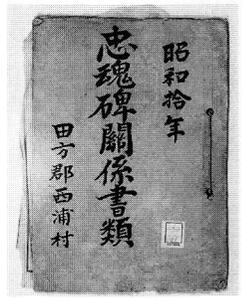
西浦村村葬(西浦村役場文書)  
西浦小学校々庭での村葬。奉安殿と忠魂碑が見える。

## 西浦地区の戦争記念碑概観

### 西浦村忠魂碑

西浦尋常高等小学校(明治三十七年木負、古宇、江梨尋常小学校を合併して創立、明治三十九年一〇月現在地の平沢に移転)の校庭に、明治四四年創立の帝国在郷軍人会西浦村分会が主体となつて建立された。昭和一〇年七月起工、同年一〇月三一日竣工、総工費五百六十四円四〇銭である。同年一月三日午前九時より除幕式が神式と仏式の二部構成で挙行された。題号は、西浦村在郷軍人分会長と西浦村長の連名で帝国在郷軍人会静岡支部長を通じて当時の帝国在郷軍人会長鈴木大将(貫太郎)に依頼し、鈴木大将によって揮毫された。

建立当初に祀られた戦没者は10柱(碑には刻されなかったと推測される)。内訳は、戦争別では西南戦争1名、日清戦争2名、日露戦争4名、日中戦争3名、地区別では、河内1名、木負4名、久料1



「忠魂碑関係書類」  
(昭和10年 西浦村役場文書)

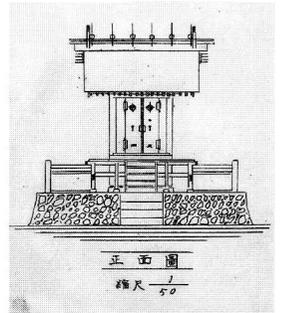
名、立保2名、久連2名となつて  
いる。

忠魂碑建立にあわせて、「一見ニ  
シテ忠勇義烈ノ戦死病没諸士ニ感  
謝ト敬虔ノ念ヲ喚起セシムル」(「忠  
魂碑関係書類」) 為に、海軍大臣に  
廢兵器の無償下附を出願し、同年  
一一月四日付で、浮標水雷缶一個  
を下付されている(実際の移設は  
同年一一月末頃か)。

この碑は昭和二二年五月三十一日  
撤去された。この時の事情は明らか  
ではないが、GHQ指令に従つ  
たものであるうか。

**奉安殿**

河内の海瀬源兵衛氏より奉安殿  
建設費として壹千円が寄附され、  
西浦尋常小学校々庭隣接地を所有  
者から無償借地(一〇年後に寄附  
の契約)して奉安殿が建設された。  
昭和一〇年一一月二四日村会決議、  
翌年二月三日地鎮祭、二月二一日



江梨分教場奉安殿設計図  
(西浦村役場文書)

起工、三月三〇日落成。総工費は  
一千一百円であった。四月二九日  
落成祝賀会挙行。工事は函南村松  
本耕作が請負った。この奉安殿を  
建設するにあつて柚野尋常高等  
小学校(現芝川町)、北狩野南小学  
校(現伊豆市)、大仁高等女学校か  
ら奉安殿の設計図、建設費細等  
を取り寄せている。昭和二一年八  
月二四日撤去された。

また、明治三十一年に設立された  
江梨分教場(昭和三〇年西浦西小  
学校、昭和四六年西浦小学校に統  
合)には昭和一七年に奉安殿が建  
設された。こちらはいつ撤去され  
たかは明らかではない。

**護國塔**

平沢の西浦小学校々庭に昭和三  
五年九月二三日、西浦自治会によ  
つて建立された。題号は圓覚宗源  
(臨濟宗円覚寺派管長朝比奈宗源、



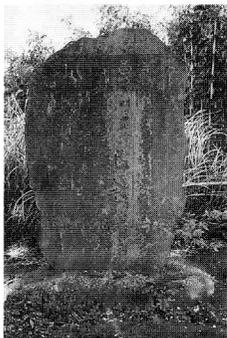
護國塔 (平沢)

別峰と号した)の揮毫である。碑  
裏面には「英靈」として、西南戦  
争以降大東亜戦役までの西浦地区  
の戦没者131名の氏名が戦役、事変  
ごとに刻されている。戦役、事変  
ごとの内訳は、西南戦争1名、日  
清戦争2名、日露戦争5名、濟南  
事変1名、上海事変2名、日支事  
変16名、大東亜戦役104名となつて  
いる。

**義勇奉公**

**明治卅七八年戦役記念碑**

現在は西浦小学校の護國塔の脇  
に建つ。戦前は奉安殿、忠魂碑、  
二宮金次郎銅像(平沢の渡邊友三  
郎氏の紀元二六〇〇年記念の寄附



義勇奉公 (平沢)

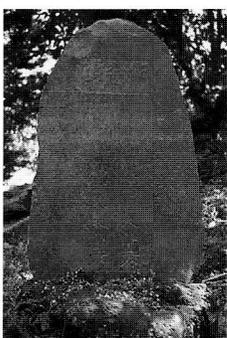
で昭和一五年二月九日建立、同一  
七年一一月八日(供出)と並んで西  
浦尋常小学校々庭にあった。揮毫  
は陸軍中将正四位勲二等功三級古  
川宣誉で、彼は沼津兵学校第三期  
資業生であった。

**記念碑**

江梨の八幡神社神明社参道脇  
に明治二八年八月、江梨区青年社  
によつて建立された。江梨から日  
清戦争に従軍し凱旋した2名を顕  
彰する碑である。また、八幡神社  
神明神社の鳥居前に建つ標石は、  
大正一一一年五月の建立で、揮毫は  
沼津兵学校附属小学校で学んだ陸  
軍大将井口省吾(大正九年退役)  
である。

**英靈 護國塔**

江梨の海蔵院北側高台の一面に  
昭和二七年九月二三日、江梨遺族  
一同によつて建立された。揮毫は  
圓覚宗源である。碑裏面には「同



記念碑 (江梨)

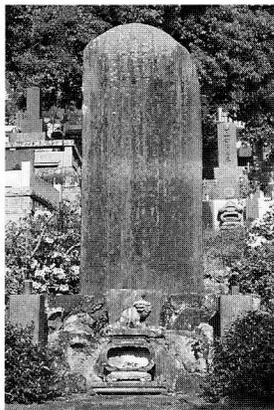


慰霊 (足保)

會」として江梨出身の昭和一五〇二二年の19名の戦没者の戒名、戦没年月日、氏名が、三島の雪嶺居士の書で刻されている。碑前には「獻華」と刻された花立2基、「江梨區」と刻された燈籠2基が設置されている。

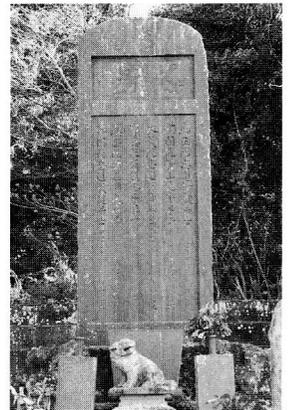


英靈 護國塔 (江梨)

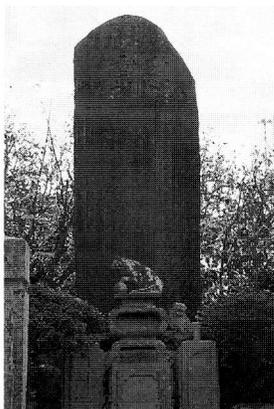


仰遺烈 (久連)

足保の共同墓地の一面に昭和三二年九月彼岸、遺族によって建立された。題号は圓覚別峰の揮毫である。戦没者5名の戒名、戦没年月日、戦没場所、氏名が刻されている。



流芳 (古宇)



慰霊 (木負)

古宇の泉竜寺境内に昭和三四年三月、遺族によって建立された。題号は圓覚別峰の揮毫である。戦没者6名の戒名、氏名、戦没年月日、戦没場所が刻されている。

また「戦没者共同墓地建設記」が久連遺族会によって建てられている。馬頭観音 河内の観音堂跡に昭和一二年八年二一日建立の馬頭観音があり、「**因事変軍馬徴発記念**」と刻されている。

「忠魂碑関係書類」(昭和一〇年、西浦村役場文書・当館蔵)、『木負・河内の民俗』(沼津市教育委員会、一九三

の戒名、氏名、戦没年月日、西浦小学校長上原唯一の書によって刻されている。碑前には、久連農業会、久連漁業会によって花立が1基ずつ、久連区によって燈籠2基が設置されている。戦没者26名の戦没年月日、戦没場所、氏名が刻されている。碑前には、木負区によって燈籠2基が、木負消防団によって手水鉢1基が、男女青年団、婦人会によって花立2基が設置されている。以上、西浦地区の戦争記念碑の調査について記した。周知のとおり、西浦地区の寺院のほとんどが臨濟宗円覚寺派の寺院である。西浦地区で戦後に建立された戦争記念碑の揮毫は、現在把握できている限りでは、全て円覚寺派管長の朝比奈宗源氏の手になっている。氏は名僧として、またテレビ番組の題字を書くなど書家として名を知られた人物であるが、西浦地区における臨濟宗円覚寺派との関わりを窺わせるものである。(参考文献)『西浦小学校創立百周年記念誌 にしうら』(一九七七)、



## お知らせ欄

## ◎1階図書室のリニューアル

当館の1階図書室は、開館以来児童図書室として多数の皆様にご利用いただきました。本年度より1階図書室は、郷土資料、県内市町村史、総合学習関連図書、歴史系一般図書、全国の博物館の刊行物等を揃え、レファレンスルームとしてリニューアルしました。皆様の質問等にもお答えします。どうぞご利用ください。

## ◎明治史料館の新スタンプです

明治史料館の新しいスタンプができました。当館の石田ゆかりがデザインしました。初代のスタンプ2つもまだまだ元気です。来館の記念にどうぞ。

## ◎沼津市明治史料館史料目録33、34の刊行

史料目録33『長浜菊地家(大門)・長浜漁業協同組合目録』(B5版・93ページ、頒価五〇〇円)、史料目録34『大平原家(南の大屋)・日吉大嶽家文書目録』(B5版・133ページ、頒価五〇〇円)を刊行しました。いずれも当館で所蔵・保管する文書資料の目録です。史料の検索にご利用ください。

## ◎平成15年度館蔵資料の出版物、テレビ等への写真・資料提供(順不同・未刊を含む)

「さんらいふ」平成15年8月15日号(さんらいふ編集部)、「シリーズ甦るあの日」(SBS「テレビタ刊」)、『コロンブス』10月号(東方面信社)、『清水町史』通史編下巻(清水町)、斎藤多喜夫著『幕末明治 横浜写真館物語』(吉川弘文館)、市政参加番組(静岡第一テレビ)、『民衆文化とつくられたヒーローたち』アウトローの幕末維新史(国立歴史民俗博物館)、エハガキ(mosaic channel)、別冊歴史読本75号『幕末維新大戦争』(新人物往来社)、『ビジュアルワイド小

学校社会科学資料集6年生静岡県版資料』(東京書籍)、別冊歴史読本83号『徳川旗本八万騎総覧』(新人物往来社)、『市政参加番組 沼津オンリーワン物語』(広報課・静岡第一テレビ)、『麻布中学を創った男』(新潮社)、『沼津市史絵図集』(仮題)、『沼津の四季』(沼津ライオンズクラブ作成ビデオ)

(丸田佳子様)、拓本(宮治享美子様) ◎平成15年度の受託資料(受託順) 足保区有文書(西浦足保自治会様)、木負相磯家(上條)文書(相磯昌美様)、下香貫藤井原関係文書(山本千守様) ◎館職員の人事異動について 4月1日付、2日付の人事異動により、事務員川口勝久が市文化センターに異動、後任に主幹石川治夫が、臨時嘱託武田藤男が退職、後任に大庭晃が着任しました。今後とも変わらぬ御支援をお願い申し上げます。

沼津市歴史民俗資料館「竹の今昔物語」展(7月～9月)、沼津市役所社会福祉課「沼津の戦争パネル展」8月15日、沼津市歴史民俗資料館「植田内膳と香貫用水」展(2月～6月)、土本通商店街振興組合主催「沼津兵学校附属小学校」(3月)

◎平成15年度の受贈資料(受贈順) 権田正三郎関係資料(権田新一様、西川鐵次郎関係資料(西川創様、古銭、切手等(伊豆野伍郎様)、幕(石川治夫様)、剣道防具等(赤坂沼津学園同窓会様)、大川通久関係資料(大川幸作様)、軍事郵便ハガキ(岩崎安伸様、和田伝太郎筆屏風(田中明様)、鐸成舎卒業証書

お詫びと訂正 通信76号で誤りがありました。お詫びして訂正いたします。 1頁キャプション 干 ↓ 二 4頁2段7行 当時 ↓ 後に

沼津市明治史料館通信 第77号

編集 沼津市明治史料館 発行

〒410-0051 沼津市西熊堂三七二-1  
電話 〇五五-九二三-三三三五  
FAX 〇五五-九二五-三〇一八  
http://www.city.numazu.shizuoka.jp/sisetu/meiji/index.htm